CUC 千葉商科大学
CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE

2027年度　学生募集要項

外国人留学生特別選抜

◆ 商　経　学　部
商 学 科 / 経 営 学 科

◆ 総 合 政 策 学 部
経済学科/政策情報学科

◆ サービス創造学部

◆ 人 間 社 会 学 部

目次

■アドミッション・ポリシー …… 1
■募集人員 …… 10
■出願資格 …… 10
■試験日程 …… 10
■出願方法 …… 10
■出願書類 …… 11
■選考方法等 …… 12
■小論文課題 …… 13
■出願上の注意 …… 14
■オンライン面接について …… 15
■インターネット出願 …… 19
■受験上の注意 …… 27
■合格発表 …… 29
■入学手続きおよび学費等 …… 30
■入学前教育について …… 33
■入学辞退について …… 33
■試験会場案内 …… 34

出願から入学手続きまでの流れ

1 事前確認

①出願資格　➡ 10ページ
②日程　➡ 10ページ
③インターネット出願に必要なもの　➡ 19ページ
◆インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末など
◆利用可能なメールアドレス（携帯電話キャリアのアドレスは不可）
◆A4サイズの用紙が印刷可能な環境（自宅プリンター、ネットプリント等）

2 インターネット出願

①マイページ・基本情報登録　➡ 19ページ
●出願受付期間前も登録可
◆マイページ登録をした後、「基本情報」を登録
インターネット出願サイト：https://www.guide.52school.com/guidance/net-cuc/
②出願登録　➡ 21ページ
●各入試の出願受付期間のみ登録可、再受験もここから。
◆入試区分、志望学部・学科、試験会場を選択し、入力
③出願書類の作成　➡ 11ページ
●出願受付期間前も作成可
◆本学Webサイトからダウンロードし、作成（自筆記入・鉛筆不可）
※その他必要な書類は11頁を確認してください。
④入学検定料支払い　➡ 22ページ
●各入試の入学検定料支払期間のみ支払可
◆支払い方法確認（入学検定料の他サービス利用料が必要）
（コンビニエンスストア、ATM、クレジットカード、ネットバンキング）
⑤出願書類の印刷　➡ 22ページ、26ページ
◆マイページ「出願完了画面」から志願票、検定資格取得報告書、宛名ラベルをA4サイズで印刷
※マイページ内「出願確認」メニューからも印刷可
⑥出願書類の提出（郵送）
◆チェックシートを基に提出書類を準備し、郵送（簡易書留・速達）/締切日消印有効

3 受験票の印刷　➡ 25ページ

◆受験票公開期間中のみマイページにログインし「オンライン受験票」から印刷可能。
◆受験票記載の試験日、受験番号、集合時間、試験会場等を確認。
◆印刷（A4サイズ）し、試験当日に持参。

4 受験　➡ 27ページ

◆面接（20分程度の個人面接）
◆受験上の注意（試験前日まで、試験当日、その他）を確認。
◆オンライン面接希望の場合は実施までの手順、本番環境接続チェックも実施。

5 合格発表　➡ 10ページ、29ページ

◆合格発表日にマイページ「合否結果」より合否を確認。
マイページログインURL：https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja

6 入学手続き　➡ 30ページ

◆合格者向け特設サイトやマイページ「オンライン入学手続き」ガイダンスを確認の上、手続きを行う。
◆手続締切日は31ページを確認。

アドミッション・ポリシー

千葉商科大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

「アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）」とは、千葉商科大学が入学を希望する方に求める能力や資質に関する考え方のことです。

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

＜本学の求める学生像＞

◆【基礎的な学力】高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生

◆【高い倫理観】実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生

◆【幅広い教養】実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生

◆【専門的な知識・技能】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

一般選抜では、本学の学士課程の教育にふさわしい知識･技能（理解力、数理能力、表現力、語学力）を、主に学力試験によって測り選抜する。レベルとしては高等学校の授業に準拠した内容を問うものとする。幅広い範囲からの出題とし、高等学校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。

総合型選抜、学校推薦型選抜および特別選抜では、本学の求める学生像を体現する意欲や適性を、面接試験や書類審査などで測り選抜する。

全選抜方式で、高等学校における学習状況や特別活動の記録などを調査書等で確認し合否の判断材料の一つとする。全体の学習成績の状況等は出願要件に含まれることもある。

※本学および各学部・学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、本学 Web サイト（https://www.cuc.ac.jp）→「教育／学部・大学院」→「各学部ページ」→「3つのポリシー」を参照してください。

商経学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

商経学部では、伝統と実績を重んじつつ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、劇的に変化する経済や社会に対して柔軟に対応し、高い倫理観を持って企業活動を変革できる人材、『ビジネスプロフェッショナル』人材を育成することが教育目標である。

上記の教育目標に基づくディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
◆実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
◆上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
◆商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
◆さまざまな資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能（理解力、数理能力、表現力、語学力）を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し､総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

商経学部　商学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

商学科では、ビジネス・経済・社会に関する幅広い専門的知識と、問題発見と分析能力を身につけ、多様な意見や考え方を尊重し、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、マーケティング、ファイナンス、簿記会計に関する知識を備え、経済活動の運営・管理や維持・発展に関する知識・データ・情報技術に基づいて企業や社会の課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
◆実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
◆上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
◆商学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
◆日商簿記検定に代表される簿記資格や、マーケティング、ファイナンスにかかわる資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 指定校制学校推薦型選抜（公認会計士プログラム特待生選抜）
検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(4) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能（理解力、数理能力、表現力、語学力）を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し､総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

商経学部　経営学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

経営学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と分析能力を身につけ、ビジネス・経済・社会に関して、その多様性を多面的・多角的な視点から理解し、異なる背景や意見を持つ人々と効果的にコミュニケーションをとることで、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、経営に関わる諸理論の理解を踏まえ、企業などの経済活動の運営・管理や維持・発展に関する具体的知識・データに基づいて経営課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
◆実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
◆上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
◆経営学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
◆日商簿記検定に代表される簿記資格や、中小企業診断士、経営学検定、ビジネス会計検定などの資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体現する可能性をはかり、総合的に合否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能（理解力、数理能力、表現力、語学力）を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し､総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

総合政策学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
◆法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
◆入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し、修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性･多様性･協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部　経済学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

経済学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
◆経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
◆経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
◆企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型､一般選抜型] 文化部､運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性･多様性･協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性･多様性･協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性･多様性･協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部　政策情報学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

政策情報学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
◆法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
◆公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加し、社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生
◆デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

＜入学者選抜の基本方針＞

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜
小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜
[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜
[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜
特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。
[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。
[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜
[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。
[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜
[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。
[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に合否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型
学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型
大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜
面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性･多様性･協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜
面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

サービス創造学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

サービス創造学部では、これからの新しい社会で求められるサービス創造人材の育成を目指している。そのため、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心としたカリキュラムを通して学んでいく意思を強く持ち、多くの公式サポーター企業の協力の下、そうした学びの機会を積極的に活用して他者とともに成長する意欲のある学生を歓迎する。

＜求める学生像＞

◆ビジョン（将来構想）とパッション（熱意）

サービス創造に関する高い社会的関心を有し、自身の将来目標や学修目標を明確に設定しながら、サービス創造を学び続ける意欲、サービス創造に向けた実践的な学びに主体的に関わっていく意欲のある学生

◆基礎学力

サービス創造学部の学びを修めていくために必要となる、基礎的な知識、思考力、表現力等について、高等学校までの教育課程で幅広く習得し、かつ、その内容を十分に身につけている学生

◆協調性および社会的マナー

他者と責任を持って協働する態度、ならびに、学内外の多様な人々と交流して協働を通じた学びを実現していくための、品格、社会性を備えた学生

◆実行力

目標達成に必要な物事を的確に見極め、それらを最後まで成し遂げるために自ら積極的に努力することのできる学生

＜入学者選抜の基本方針＞

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

面接試験においては、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心とする学部カリキュラムを理解し、入学後の学修目標を具体的に定めてくると同時に、高等学校在学中に努力してきたことを詳しく説明できるかを確認する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

「ビジョン（将来構想）とパッション（熱意）」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力･判断力･表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型] 小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等における優れた活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

「ビジョン（将来構想）とパッション（熱意）」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に成績優秀で、様々な学びの場でリーダーとして活躍できる人物であると判断された場合、給費生に認定する。

[プレゼンテーション型] プレゼンテーションでは特に、課題への理解、課題解決に向けた発想力と論理展開力、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型] 課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

[活動評価型] 課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型] 高等学校までの学びを正しく理解できているか、個別学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

サービス創造の学びに必要となる基礎学力を備えていることを、学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を通じて判断し、総合的に合否を判定する。本選抜においても、サービス創造学部で成長していくために求められる「ビジョン（将来構想）とパッション（熱意）」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点についての重要性を理解していることが求められる。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識･技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

「ビジョン（将来構想）とパッション（熱意）」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験においては「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

人間社会学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

人間社会学部では、持続可能性（サステナビリティ）が求められる現代社会で活躍できる人材を育成することを目的としている。そのためには、持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想する力と実践力を身に付けることが望ましい。そのような構想をするためには、人・社会・自然にかかわる事象・問題に対する幅広い関心を持ち、自ら調べていくことが必要である。また、構想の下で実践的な活動をするためには、多様な他者への理解と尊重を基盤とする協働が不可欠である。社会学を中心に、経済学、政治学、環境学、社会福祉学など幅広い学問を学ぶことで世界を知り、社会的課題を自ら調べ、多様な他者とともに協働し、実践に積極的に取り組み、持続可能な世界の実現にむけて学修していく意欲を持った学生を歓迎する。

＜求める学生像＞

◆高等学校の教育課程を幅広く修得し、修学に必要な基礎学力を有する、知識を広げるために自分自身で深く調べる意欲のある学生（知識・技能）

◆持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想し実現しようという意欲のある学生（思考力・判断力・表現力）

◆論理的な思考力と精確な読解力、的確な発信力を持つ意欲のある学生（思考力・判断力・表現力）

◆多様性の理解に向けて、異なる文化、社会、歴史的背景を持つ人々の主張を尊重し、活発な意見交換をする意欲のある学生（主体性・多様性・協働性）

◆学内外の様々な他者と連携して実践的な学びに自分から関わっていく積極性と協働性を持つ意欲のある学生（主体性・多様性・協働性）

＜入学者選抜の基本方針＞

人間社会学部の入学者選抜では、「求める学生像」で示した力を以下の方法によって評価する。

面接試験では、主に、持続可能な社会の実現を求める意欲、論理的な思考力や的確な発信力、多様性の理解、学びに対する積極性、課題に取り組む協働性などを総合的に評価する。調査書や修学計画書では、高等学校における学びに対する積極性、他者との協働性を評価する。検定資格取得報告書および学力試験等では、高等学校までの基礎学力および精確な読解力を評価する。具体的な選抜の方針は以下である。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、小論文等を用いて主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

推薦書、調査書、小論文の内容から主に「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型] 推薦書、調査書、小論文の内容から「知識・技能」を確認する。特に、主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 推薦書、調査書、検定・資格の保有状況から主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

(3) 文化・スポーツ実績制学校推薦型選抜

[特待生選抜型、一般選抜型] 文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

修学計画書、小論文、面接等を用いて主に「思考力」および「発信力」、「多様性の理解」、「積極性」、「協働性」を評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な人物を給費生として選抜するために、課題への探究的な取り組みや資格保有の状況、卒業教員による人物評価を選抜方法とする。

[プレゼンテーション型] 課題の理解、データ収集手法の適切さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「多様性の理解」および「読解力」、「発信力」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

[卒業教員連携型] 人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

[探究学習評価型] 探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「多様性の理解」および「積極性」、「協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

[学力評価型] 基礎学力テストの成績を踏まえ「知識・技能」を確認する。特に、面接から「思考力」、「発信力」を重視し評価する。

[検定資格評価型] 検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

[活動評価型] 課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

[学力評価型] 高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、個別学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を用いて主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 個別試験型

個別試験の成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。学力試験においては指定科目型では特に「国語」を重視する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、面接試験では「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、給費生として選抜する。

募集人員

学部	商　経　学　部		総合政策学部		サービス創造学部	人間社会学部
学科	商学科	経営学科	経済学科	政策情報学科	サービス創造学科	人間社会学科
10月期	15名	15名	10名	5名	5名	5名
12月期						
2月期						

出願資格

次の６つの条件を満たす者とします。

1．日本国籍を有しない者
2．出願時の在留資格が「留学」の者または「家族滞在」等（「短期滞在」は除く）の在留資格で日本国内に在住している者
3．学校教育法施行規則第150条の規定により、外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者※
4．日本留学試験（EJU）の日本語、または日本語能力試験（JLPT）のN1もしくはN2、または実用日本語検定（J.TEST）のA-Cレベルのいずれかを受験し、成績に関する証明書を提出できる者
ただし、いずれの試験も2025年6月以降に実施したものに限る
5．本学および志望学部・学科のアドミッション・ポリシーを理解している者
6．本学志望学部への入学を第１志望（専願）とする者

※出願資格に関する詳細は、入学センターに問い合わせてください。

試験日程

期別	出願受付期間	試験日・選考開始時間		合格発表日 (29ページ参照)
10月期	**2026年 9月 7日(月) 9:00 ～ 9月11日(金) 16:00** [受験票公開日] 2026年10月 5日(月) 17:00～	**10月17日(土)**	9:30～ または 13:30～ 集合時間は受験票にてお知らせします。	**11月 1日(日)** 17:00～ ※郵送日も同一日
12月期	**2026年11月 9日(月) 9:00 ～11月13日(金) 16:00** [受験票公開日] 2026年12月 7日(月) 17:00～	**12月12日(土)**		**12月21日(月)** 17:00～ (郵送日) 12月22日(火)
2月期	**2027年 1月25日(月) 9:00 ～ 1月29日(金) 16:00** [受験票公開日] 2027年２月15日(月) 17:00～	**２月28日(日)**		**3月 6日(土)** 17:00～ ※郵送日も同一日

※受験票は受験番号の他、集合時間等が記載されています。25ページの説明にしたがい、各自で印刷し試験当日に持ってきてください。

出願方法

出願書類の提出は郵送受付のみとします。郵便局の窓口に行き、簡易書留の速達で本学入学センター入試課宛に郵送してください（**締切日消印有効**）。なお、出願書類等に不備がある場合は受理できません。各受付期間に注意して、日にちに余裕をもって郵送してください。

出願書類

本学Web → 本学Webサイト「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「インターネット出願」から印刷

ネット出願 → インターネット出願サイトから印刷（詳細は19ページを参照）

No.	出　願　書　類	提出区分	備　　考
1	**志願票**（ネット出願）	必須	・インターネット出願サイトに出願登録後、A4サイズで印刷してください。 ・商経学部志望者は、第2志望学科を選択できます。
2	**出願書類チェックシート**（本学Web）	必須	提出書類チェック欄に〇を記入し、出願書類に不足がないようにしてください。
3	**志望動機書・修学計画書**（本学Web）	必須	自筆・ボールペンで記入してください。
4	**検定資格取得報告書**（ネット出願）	必須	・インターネット出願サイトに出願登録後、A4サイズで印刷してください。 ・検定資格の取得等がなく、**登録していない場合でも必ず提出してください。** ・検定資格等の証明資料を提出する場合は、報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください。（A4サイズ、コピー可）
5	**身上記録・活動報告書**（本学Web）	必須	・自筆・ボールペンで記入してください。 ・証明資料を提出する場合は、報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください。（A4サイズ、コピー可）
6	**小論文**（本学Web）	必須	自筆・ボールペンで記入してください。（小論文課題は13ページを参照）
7	**出身高等学校の** **・卒業証明書または修了証明書〔コピー〕** **・卒業証書〔コピー〕**	必須	・左記の書類のいずれか１点を提出してください。 ・提出された書類だけで出願資格の確認ができない場合は、追加の証明書類を提出してもらうことがあります。（12ページ参照）
8	**出身高等学校の成績証明書〔コピー〕**	必須	各学年の成績が記載されたものを提出してください。（12ページ参照）
9	**＜自国の大学等に通っていた場合＞** **大学等の** **・卒業または修了証明書〔コピー〕** **・成績証明書〔コピー〕**	該当者のみ	高等学校卒業後、自国の大学等に進学した場合は、左記の２点の書類を提出してください。
10	**＜7～9が日本語または英語以外の言語で作成された証明書の場合＞** **・卒業証明書等の日本語訳〔コピー〕** **・成績証明書の日本語訳〔コピー〕**	該当者のみ	・提出書類7～9が日本語または英語以外の言語で作成された証明書の場合は、日本語訳を提出してください。 ・提出する日本語訳は、公証役場等の公的機関または第三者機関（日本語学校等）で、翻訳が正確であると証明を受けた翻訳でなければいけません。 ・第三者機関（日本語学校等）の翻訳の場合は、その学校または団体等による証明（学校や団体名、確認日、責任者名および公印）を受けてください。
11	**＜日本の教育機関に通っていた場合＞** **日本語学校等の** **・成績証明書〔原本〕** **・出席状況が確認できる証明書〔原本〕**	該当者のみ	日本語学校等の日本の教育機関に通っていた場合は、左記の2つを必ず提出してください。
12	**在留カード〔コピー〕**	必須	在留カードの写し（表面・裏面のコピー）を提出してください。 ただし、特定在留カードに限り、マイナンバーが記載された裏面の提出は不要です。
13	**＜日本語の能力に関する証明書＞** **次の書類のうち、提出できるものを1点以上提出してください。** **・日本留学試験（EJU）** **受験票〔コピー〕** **・日本語能力試験（JLPT）** **成績証明書等〔コピー〕** **・実用日本語検定（J.TEST）** **成績証明書等〔コピー〕**	必須	すべて**2025年6月以降に実施された試験が対象**です。 ＜EJUについて＞ ・身上記録・活動報告書に受験番号を記入の上、受験票のコピーを提出してください。 ・2026年6月実施分までは10、12、2月期入試で利用できます。 ・2026年11月実施分は2月期入試のみ利用できます。 ＜JLPTについて＞ N1またはN2の「認定結果及び成績に関する証明書」等のコピーを提出してください。 ＜J.TESTについて＞ A-Cレベルの成績証明書等のコピーを提出してください。
14	**受験上の配慮事項決定通知書** **（診断書等）**	該当者のみ	・疾病等により受験および修学に配慮を必要とする場合は提出してください。（14ページ参照） ・出願する前に必ず本学入学センターに相談してください。

※一度受理した提出書類は返還しません。

※ No.7, 8, 10の書類について、入学手続時に証明書の原本を提出する必要があります。（詳細は31ページ参照）

出身高等学校の証明書について

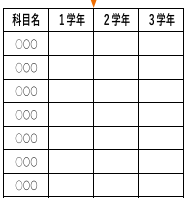
〈高校の卒業証明書について〉
・氏名、生年月日、性別、在籍期間等が記載されていること。
・学校名、学校長の承認（押印やサイン）があること。

【例（中国）】

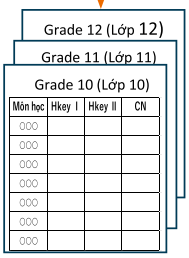
【例（ベトナム）】

〈高校の成績証明書について〉
・氏名、生年月日、性別、在籍期間等が記載されていること。
・学校名、学校長の承認（押印やサイン）があること。
・在籍年数分の成績が、学年ごとに表記されていること。

【例（中国）】



【例（ベトナム）】



※例はいずれもイメージです。

選考方法等

1．選考方法および配点

提出書類の審査、日本語能力評価の得点および面接により合否を総合的に判定します。面接は、3分間の自己アピールを含む、20分程度の個人面接を行います。

評価方法	商経学部	総合政策学部	サービス創造学部	人間社会学部
書類審査	20点	20点	20点	20点
日本語能力評価	20点	20点	20点	20点
面接審査	60点	60点	60点	60点
合　計	100点	100点	100点	100点

日本語能力評価は、下記の試験（検定）の成績をもとに評価します。
・日本留学試験（EJU）の日本語
・日本語能力試験（JLPT）の N1または N2
・実用日本語検定（J.TEST）の A-C レベル
※第1志望学科が不合格になった際、第2志望学科の選考対象となる場合があります。（商経学部のみ）

2．試験会場

試験は千葉商科大学の本学会場（市川キャンパス）で行う対面面接です。遠方などやむを得ない事情がある場合にのみ、オンライン面接（10月期と12月期のみ）を選べます。 **※2月期はオンライン面接はありません。**

面接控室［集合場所］は、受験票および当日の学内掲示を確認してください。

小論文課題

志望する学部に出題されている課題について、本学所定の原稿用紙に600字程度で記述してください（自筆・ボールペンで記入）。記述内容を面接で確認することがあります。参考文献は所定の記入欄に書ききれない場合は、別紙にまとめてください（様式任意、Word 等のパソコン作成可）。

なお、志望学部以外の学部の課題を提出すると、減点もしくは審査対象外となる場合があります。

学　部	小論文課題
商経学部 総合政策学部	① あなたの出身国（地域）と日本における文化や生活の違いについて、日本における自身の体験を踏まえて、印象的な点を1つ挙げてください。さらに、その違いが出身国（地域）もしくは日本における「強み」や「課題」と、どのように関連しているか論じてください。
サービス創造学部	サービスは、世界中のいたるところで、私たちの生活と深くかかわっています。皆さんも、買い物をしたり、スポーツ観戦をしたり、旅行に出かけたりする際、様々なサービスの提供を受けた経験があるでしょう。 あなたが出身国で日頃利用していた様々なサービスのうち、下記の中から1つを選び、日本のサービスと比較しながら、利用者の満足度をより向上させるための改善提案（新しい提案）を具体的に述べてください。 ① 商業施設のサービス（スーパーマーケット、ショッピングモールなど） ② スポーツ施設のサービス（サッカースタジアム、フィットネスクラブなど） ③ 宿泊施設のサービス（ホテル、旅館など） ④ 交通機関（飛行機、鉄道、バス、タクシーなど） ⑤ その他のサービス（その他、上記に例示されていないサービスなども、自由に取り上げてください）
人間社会学部	① 国籍や民族などの異なる人々が地域で共に生きていくうえでの課題について、具体的な事例や身近な経験をひとつ挙げ、あなたの考えを述べてください。

出願上の注意

1. 出願書類に不備のあるもの、出願受付締切後の消印で到着した書類は受理できません。
2. **入学検定料支払い後の志望学部・学科・試験会場の変更はできません。**
3. **一度受理した出願書類および納入手続きの完了した入学検定料は、原則返還しません。**ただし、一定の条件を満たす場合は、入学検定料を返還します。（24ページ「入学検定料について ⑶入学検定料の返還請求」参照）
4. 自然災害・事故等の不測の事態により、入学試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイトおよびマイページ内でお知らせしていますので、確認してください。
5. 不合格となった場合でも、次期の外国人留学生特別選抜を再受験することができます。（2月期を除く）その場合は、インターネット出願サイトマイページ画面からあらためて出願登録をし、入学検定料を支払い、出願書類をもう一度提出してください。

   なお、提出は本学所定様式書類（11ページの①志願票、②出願書類チェックシート、③志望動機書・修学計画書、④検定資格取得報告書、⑤身上記録・活動報告書、⑥小論文）のみとし、その他の書類をあらためて提出する必要はありません。
6. **受験および修学における配慮について**

   本学の入学試験では、「千葉商科大学における障がいのある学生の支援に関する指針」に基づき、障がいや疾病および怪我などの理由に応じて、受験時に必要な配慮を行います。

   配慮が必要な方は、以下の注意事項を確認の上、申し出てください。障がい等の状況に応じた配慮を検討しますが、すべての希望に添えるとは限りません。

＜注意事項＞

① オープンキャンパス、電話等で事前に相談の上、各入試期の出願受付開始2週間前までに申し出てください。期限までに申請がなかった場合、受験時に必要な配慮を行うことができない場合があります。

② 希望する受験および修学上の支援内容については、入学センター（TEL 047-373-9701）まで連絡してください。

③ 障害者手帳、診断書等の障がいおよび症状について把握できる資料の提出を求める場合があります。なお、提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。

④ 申請後、本学にて検討し「受験上の配慮事項決定通知書」をメールでお送りします。出願時は印刷した「受験上の配慮事項決定通知書」を他の出願書類と併せて同封の上、出願期間内に郵送してください。

⑤ 申請内容に関わる情報については、本人または保護者同意のもと、入学センターや学修支援課等の関連部署間で共有し、受験上の配慮や、入学後の配慮に関する検討や準備等のために活用することがあります。

＜申請方法＞

申請方法は、下記の本学 Web サイトを参照してください。

「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「各種届出」→「障がい支援、受験上の配慮について」

オンライン面接について

面接試験は、原則として本学会場での対面面接により実施します。

ただし、遠方に在住している場合や、やむを得ない事情により本学会場への来場が困難な場合は、オンラインによる面接を選択することができます。

なお、オンライン面接は、通信環境や受験環境を各自で整える必要があります。これらの環境が十分に準備できない場合や、当日の接続不良等により面接が実施できなかった場合は、欠席扱いとなることがありますので、あらかじめご了承ください。

２月期は、オンライン面接を実施しません。

オンライン面接を希望する方は以下の内容を確認、同意した上で出願登録をしてください。

オンライン面接に関する確認チェックリスト

オンライン面接を希望（試験会場「オンライン」を選択）し出願登録および書類を提出した者は、以下の確認事項すべてに同意したものとみなします。以下①～⑦の項目を確認、チェックした上で出願登録をしてください。

	チェック項目	✓欄
①	出願書類提出後、受験形式（本学での対面面接⇔オンライン面接）の変更は認められません。	
②	株式会社 ZENKIGEN が提供するライブ面接システム「harutaka（ハルタカ）」を使用するため、株式会社 ZENKIGEN の「個人情報の取扱い」Web ページ掲載の内容を確認の上、同意したものとします。 株式会社 ZENKIGEN 個人情報の取扱い：https://zenkigen.co.jp/personalinfo/	
③	事前接続チェック・面接本番用 URL での接続チェック・面接試験当日は、すべて同じ部屋 / 機器・ネットワーク環境で実施してください。	
④	必ず15～18ページを確認した上で出願登録をしてください。	
⑤	指定された期限内に事前接続チェック、および面接本番用 URL での接続チェックを実施してください。	
⑥	出願書類提出後に面接本番用 URL で接続チェックの結果エラーが発生し、問題を解消できない場合は、千葉商科大学へ来校しオンライン面接を受験することになります。	
⑦	面接試験当日にネットワーク環境等による不備が生じた場合、欠席扱いとなることがあります。	

オンライン面接実施までの手順

【1】出願までの事前準備

手順 1

端末・周辺機器の準備・事前接続チェック

本項目（16～17ページ）をよく確認の上、オンライン面接に必要な環境を準備し、事前接続チェック用サイトから接続チェックを行ってください。

手順 2

オンライン面接を選択して出願登録

出願登録の試験会場選択画面で「オンライン」を選択し、出願登録を行ってください。

【2】出願後～当日までの対応

手順 3

面接本番用URLで接続チェックの実施

面接予定日の1週間前までに送られてくるメールに記載されたURLにアクセスし、期限までに面接本番用URLでの接続チェックを実施してください。

手順 4

当日面接試験を受ける

【手順3】（18ページ）と同じURLからアクセスし、オンライン面接を受験してください。
当日の注意事項については、27ページ【受験上の注意】のオンラインで受験する方の項目を確認してください。

手順 1　端末・周辺機器の準備・事前接続チェック

端末・周辺機器の準備・事前接続チェックは、必ず面接試験当日と同じ部屋 / 機器・ネットワーク環境にて実施してください。

⑴　**面接試験を実施するために以下の機器・ネットワーク環境を各自で準備してください。**

・カメラ付きパソコン（外付けカメラを接続したパソコンも可）

面接を実施するにあたり、下表の OS・ブラウザを用意してください。

（安定した環境で面接をするためにパソコンの使用を推奨しますが、タブレットやスマートフォンも可）

【パソコン】

	OS	ブラウザ
Windows	最新版	Google Chrome 最新版、 Microsoft Edge 最新版
Mac	最新版	Google Chrome 最新版

【スマートフォン、タブレット】

	OS	ブラウザ
Android	最新版を含む過去 3 バージョン	Google Chrome 最新版
iPhone/iPad	最新版を含む過去 3 バージョン	Safari 最新版

※ OS・ブラウザのアップデートにより、推奨環境が変更になる可能性があります。なるべく最新の OS・ブラウザを利用してください。

・イヤホンマイク（ヘッドセット）

周囲からの雑音を避けるため、イヤホンマイクもしくはヘッドセットを用意してください。

安定性の観点から有線イヤホンの利用をおすすめします。Bluetooth イヤホンは使用しないでください。

・ネットワーク環境

オンライン面接を受験する部屋で、オンライン面接に必要なインターネット通信速度：10Mbps 以上を確保してください。（インターネット速度は、出願期間前に実施する「事前接続チェック」で確認できます）

※ 10Mbps 以上の通信速度を確保できない場合は、オンライン面接での出願はしないでください。

※ インターネット速度は同じ回線の利用状態で変わります。受験時刻においては受験生以外の方にはできる限り利用しないよう伝えてください。

・受験環境

面接試験を受験する部屋として自宅や学校などの個室を用意してください。

事前接続チェック・面接本番用 URL での接続チェックは、面接試験当日と同じ部屋で実施してください。

なお、試験当日の面接中は、同室に他の人が居ないようにしてください。

※上記の機器・ネットワーク環境が準備できているかを確認するため、**出願前に必ず試験当日と同様の環境で**以下⑵「事前接続チェック」を行ってください。

⑵　**下記の URL から事前接続チェックを行ってください。**

事前接続チェック用 URL：https://cuc.harutaka.jp/ml/2c8713c75fc5

自動で次ページの画面が表示されます。

接続チェックを開始し、必ず通信速度チェックを含むすべての項目を確認してください。

エラー解消が難しい場合は、オンライン面接での出願はしないでください。

【接続チェックの流れ】

自動でご利用環境チェックが開始されます。

ナビゲーションにしたがって接続チェックを行ってください。

※接続チェックで、各種設定変更やアップデート等を促すメッセージが表示された場合、表示内容に沿って対応してください。

※接続チェック画面が自動で開始されない場合、右図の「接続チェック」ボタンをクリックしてください。

「ご利用環境は問題ありません」と表示されれば完了です。

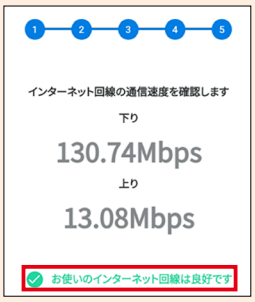
「終了する」ボタンをクリックすると画面が閉じます。

《 注意事項 》

※カメラとマイクは、ブラウザでの許可が必要となります。許可を求める表示が出たときは「許可」してください。

※通信速度チェックの画面では計測に数秒時間がかかります。
スキップはせず「お使いのインターネット環境は良好です」という表示（右図下赤枠）が出るまで待ってください。

※この表示がされない場合はオンライン面接に十分な通信速度に達していませんので、ネットワーク環境等を切り替えて、10Mbps 以上の通信速度を確保してください。



＜接続チェックに関するサポート窓口＞
harutakaサポートデスク
TEL：03-6630-5339
［受付時間］平日・土日 9:00～18:00

＜接続チェックエラーの対処方法＞
https://harutaka.jp/faq/candidate/error10829

出願前の準備チェックリスト

出願期間前に、以下の①～⑤の項目をチェック（✓）してください。

項目	チェック項目		✓欄
端末・周辺機器の準備	**面接当日に使用する①～③の機器類が用意できている。**		
	①	カメラ付きパソコン、または外付けカメラを接続したパソコン（パソコンを推奨しますが、タブレットやスマートフォンも可）	
	②	イヤホンマイク、またはヘッドセット（安定性の観点から有線イヤホンの利用を推奨）	
	③	オンライン面接に必要なインターネット通信速度（10Mbps 以上）	
事前接続チェック	④	事前接続チェック用 URL（16ページ）を使用して、接続チェックを行った結果、問題がなかった。	
	⑤	事前接続チェックは、面接試験当日と同じ環境（機器、ネットワーク環境、場所）で行った。	

手順 2　オンライン面接を出願登録

出願期間になったら、出願登録の試験会場選択画面で「オンライン」を選択し、出願登録を行ってください。

※必ず【手順1】の事前接続チェックを実施の上、適切な機器・環境を整えられていることを確認してから、出願してください。

【2】出願後～当日までの対応

手順 3　面接本番用 URL での接続チェックを実施

面接本番用URLでの接続チェックは、必ず面接試験当日と同一の部屋 / 機器・ネットワーク環境で実施してください。

※本番環境接続チェックは、以下の通り通知される面接本番用 URL で実施し、【手順1】の事前接続チェックとは別に対応が必要です。

面接時間と面接本番用 URL の通知、接続チェックの実施

下表の「通知予定日」に、千葉商科大学のマイページに登録したメールアドレス宛に試験当日の面接時間および面接本番用 URL を通知します。「対応期限」までに面接本番用 URL にアクセスし、接続チェックを実施してください。表示される画面、手順は【手順1】(2)と同様です。

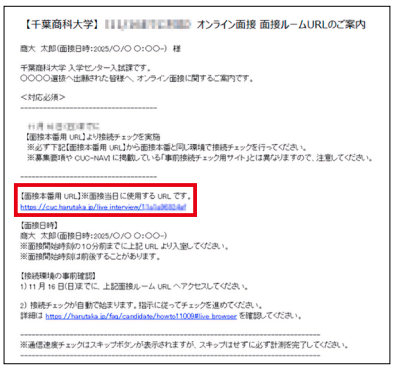
【入試日程毎のスケジュール】

入試日程	通知予定日※	対応期限
10月17日 (土)	10月　5日 (月)	10月　9日 (金)
12月12日 (土)	12月　7日 (月)	12月　9日 (水)

※通知は受験票公開以降（17時以降）を予定しています。

【面接本番用 URL】にアクセスして、期日までに接続チェックを実施

※通知するメールのイメージ


【千葉商科大学】[illegible] オンライン面接 面接ルームURLのご案内

鹿大　太郎(面接日時:2025/○/○ ○:○○~)　様

千葉商科大学 入学センター入試課です。
○○○○選抜へ出願された皆様へ、オンライン面接に関するご案内です。

<対応必須>

[illegible]
【面接本番用 URL】より接続チェックを実施
※必ず下記【面接本番用 URL】から面接本番と同じ環境で接続チェックを行ってください。
※募集要項や CUC-NAVI に掲載している「事前接続チェック用サイト」とは異なりますので、注意してください。

【面接本番用 URL】※面接当日に使用する URL です。
https://cuc.harutaka.jp/live_interview/[illegible]

【面接日時】
鹿大　太郎(面接日時:2025/○/○ ○:○○~)
※面接開始時刻の10分前までに上記 URL より入室してください。
※面接開始時刻は前後することがあります。

【接続環境の事前確認】
1) 11 月 16 日(日)までに、上記面接ルーム URL へアクセスしてください。

2) 接続チェックが自動で始まります。指示に従ってチェックを進めてください。
詳細は https://harutaka.jp/faq/candidate/howto11009#live_browser を確認してください。

※通信速度チェックはスキップボタンが表示されますが、スキップはせずに必ず計測を完了してください。

・メールは、インターネット出願登録時に登録したメールアドレス宛に通知します。
・迷惑メール防止のためのメール受信設定をしている場合は、【no-reply@harutaka.jp】のメールが受信できるように設定してください。
・通知予定日の翌日になってもメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダに振り分けられていないか確認してください。
・Gmail 等のアプリから面接本番用 URL をクリックすると、推奨環境外のブラウザが起動し、アクセスできない場合があります。アクセスしたブラウザが推奨環境外の場合は、推奨環境のブラウザを起動し、面接本番用 URL をコピー・貼り付けを行ってアクセスし直してください。
・面接本番用 URL での接続チェックを実施していない場合や、エラーが発生したまま放置している場合は、当日のオンライン面接に支障をきたす可能性があります。必ずすべてのチェックを実施しエラーを解消してください。
・通信速度チェックもスキップせずに必ずチェックをしてください。

手順 4　当日面接試験を受ける

受験票に記載の入室時間になったら、【手順3】で接続チェックを行った際と同じ URL にアクセスして入室してください。入室前に、以下のチェックリストで最終確認をしてください。

面接試験当日にオンライン面接を実施する前のチェックリスト

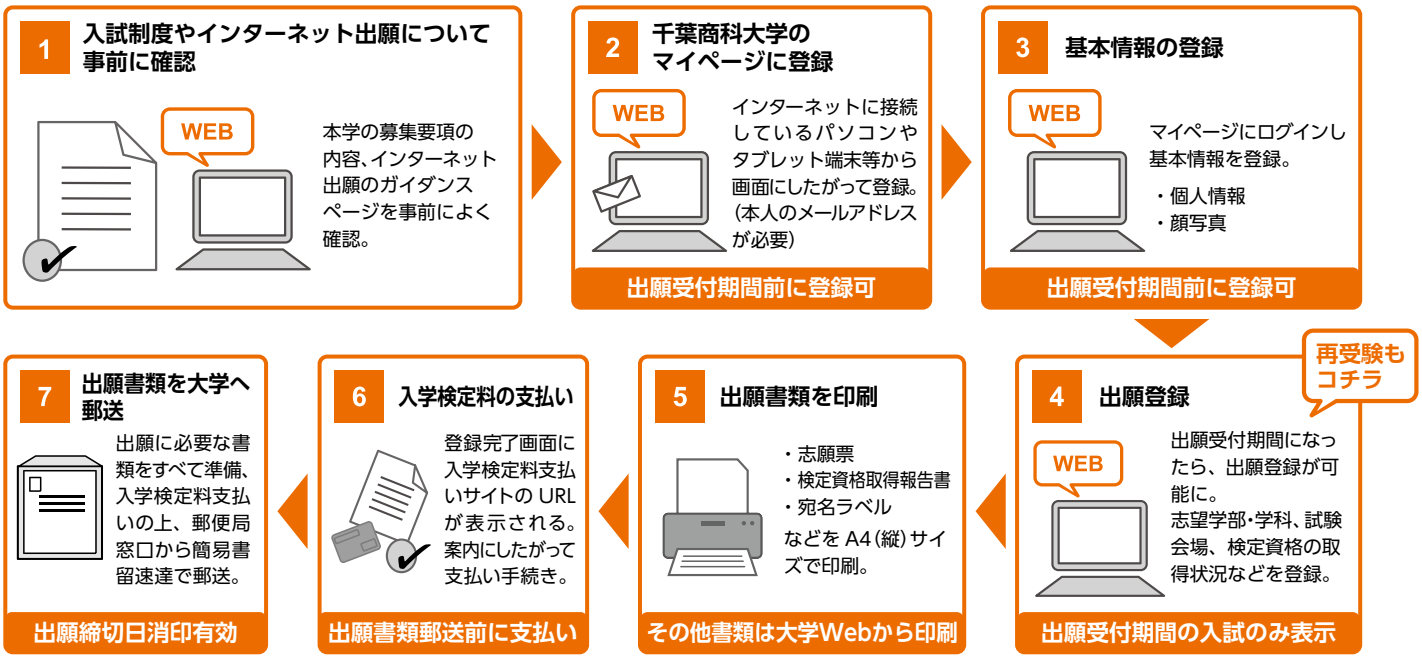
	試験当日のチェック項目	✓欄
①	機器、ネットワーク環境、場所は本番用 URL で実施した接続チェック時と同じである。	
②	本学からメールで通知された「面接本番用 URL」にアクセスする準備はできている。 ※誤って16ページの「事前接続チェック用 URL」にアクセスしないよう注意してください。	
③	面接場所に、受験生以外の方が在室・入室しない環境が確保できている。	
④	使用する機器は、電源に接続されている。	
⑤	通信機器は、面接ルーム以外の Web ページ・アプリがすべて閉じられている。	
⑥	トラブル発生時のために、出願時に登録した連絡先にすぐに出られる状況になっている。	

※面接本番用 URL での接続チェックで使用した機器やネットワーク環境が変わることによって、オンライン面接が実施できない場合があります。やむを得ず、機器やネットワーク環境を変更する場合は、【手順3】の面接本番用 URL から接続チェックを再度実施し、オンライン面接に適した環境を準備できていることを事前に確認しておいてください。

※当日の注意事項については、27ページ【受験上の注意】のオンライン面接に関する項目を必ず確認してください。

インターネット出願

インターネット出願の流れ



STEP1 入試制度やインターネット出願について事前に確認

マイページ登録を行う前に、募集要項などで入試制度やインターネット出願について確認をしてください。

事前に準備をするもの

(1) インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末など

(2) 利用可能なメールアドレス（携帯電話キャリアのアドレスは不可）

・出願内容の問い合わせを行う場合がありますので、必ず出願者本人のメールアドレスを準備してください。

・大学から携帯電話キャリアのメールアドレスへメール送信をすることはできません。

・ドメイン受信設定をしている場合は、以下2つのドメインからメールを受信できるように設定してください。

✓ 千葉商科大学からの配信 ➡ 「@cuc.ac.jp」

✓ インターネット出願システムからの配信 ➡ 「@52school.com」

・マイページ登録時に「マイページ登録完了のお知らせ」、出願登録完了後に「インターネット出願完了のお知らせ」、入学検定料支払い完了後に「入金確認メール」が届きます。

(3) A4サイズの用紙が印刷可能な環境を確認（自宅プリンター、在籍中の学校の先生に相談、コンビニエンスストアのネットプリントなど）

・出願時、志願票などの印刷に使用します。

ガイダンスページの確認

インターネット出願のガイダンスページにアクセスし、登録方法やFAQを確認してください。

インターネット出願サイト：https://www.guide.52school.com/guidance/net-cuc/

STEP2 千葉商科大学のマイページに登録（2026年8月末公開予定）

インターネット出願のページから登録

STEP1で確認をした、インターネット出願サイトのガイダンスページ上部「マイページ」ボタンをクリックし、仮登録をしてください。仮登録で入力したメールアドレスに、マイページ本登録用のURLが届きます。案内にしたがって、マイページの本登録を行ってください。

2027年度入試のマイページ登録開始は、2026年8月末を予定しています。公開日は大学Webサイトでお知らせします。なお、マイページは出願受付期間前に登録することが可能です。日にちに余裕をもって登録してください。

STEP3 基本情報の登録（出願受付期間前に登録・変更可能）

⑴ マイページにログインし、画面の指示にしたがって「基本情報」を登録してください。

⑵ 「基本情報」は、出願受付期間より前に登録することが可能です。

⑶ 「基本情報」メニューへの入力時間は最大30分間です。30分以上継続して入力操作することはできません。30分間より長く時間がかかってしまいそうな場合には「登録」ボタンを押し、何度かに分けて登録を行ってください。

⑷ 「基本情報」に登録した内容は変更･更新可能ですが、出願登録完了後の変更は出願情報には反映されません。出願登録完了後に変更が必要な場合は、24ページ「登録内容に誤りがある場合の対応」を参照してください。

【基本情報の登録１】氏名や住所、出身校などの個人情報

⑴ 出願者本人の個人情報を登録してください。

⑵ 「漢字氏名」および「英字氏名」はパスポート記載のアルファベット表記を全角大文字で入力してください。また「カナ氏名」は全角カタカナで入力してください。

⑶ 登録した内容は、出願時に使用する個人情報となります。

【基本情報の登録２】証明写真の登録

⑴ 出願登録の前に顔写真データを準備の上、登録を行ってください。

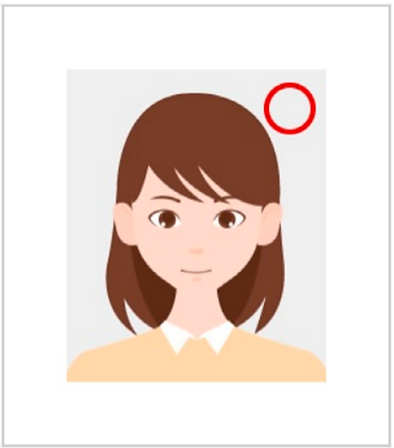
⑵ **証明写真（顔写真）の撮影とデータ保存**

下記⑶顔写真の条件および例を参照し、推奨 証明写真機（写真データの取得ができるもの）、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラなどで顔写真を撮影してください。撮影時には「白／青／グレーを基調とした無地の壁」を背景に撮影をしてください。

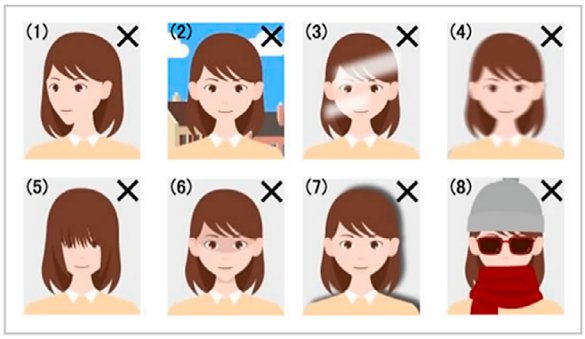
⑶ **顔写真の条件**

・直近3ヶ月以内に撮影したもの
・カラー写真のみ（白黒不可）、上半身（肩の一部と顔全体）・正面、無帽、背景なし
・アップロードが可能なファイルは jpg のみ、画像容量は100KB 以上､5MB 以下
・顔が小さすぎないもの
・大きすぎて顔や頭の一部が切れていないもの

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



⑴正面を向いていない（顔が横向き等）
⑵無背景でない（風景や柄が写っている）
⑶照明が反射している（顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない）
⑷ピンボケや手ブレにより不鮮明
⑸前髪が長すぎて目元が見えない
⑹顔に影がある
⑺背景に影が写っている
⑻マフラーやスカーフで輪郭が隠れている
⑼証明写真などすでに印刷された顔写真をさらに撮影した画像

⑷ 顔写真を登録

アップロード時に写真の拡大・縮小・範囲指定が行えます。画面にしたがってサイズを調整してください。

STEP4-1 出願登録（出願受付期間に該当する入試のみが表示されます。再受験もこちらから。）

⑴ 出願する入試種別、出願区分、志望学部・学科を選択し、受験に必要な情報を手順にしたがって入力してください。

⑵ オンライン面接を希望する場合は、15～18ページの「オンライン面接について」の掲載内容を事前に確認の上、試験会場の選択画面で「オンライン」を選択してください。（10月期および12月期のみ選択可）

⑶ 「緊急連絡先」は入試当日の緊急時に連絡がとれる、出願者本人以外の連絡先を登録してください。
また、入試当日以外にも出願内容の確認等のため、大学から連絡する場合があります。

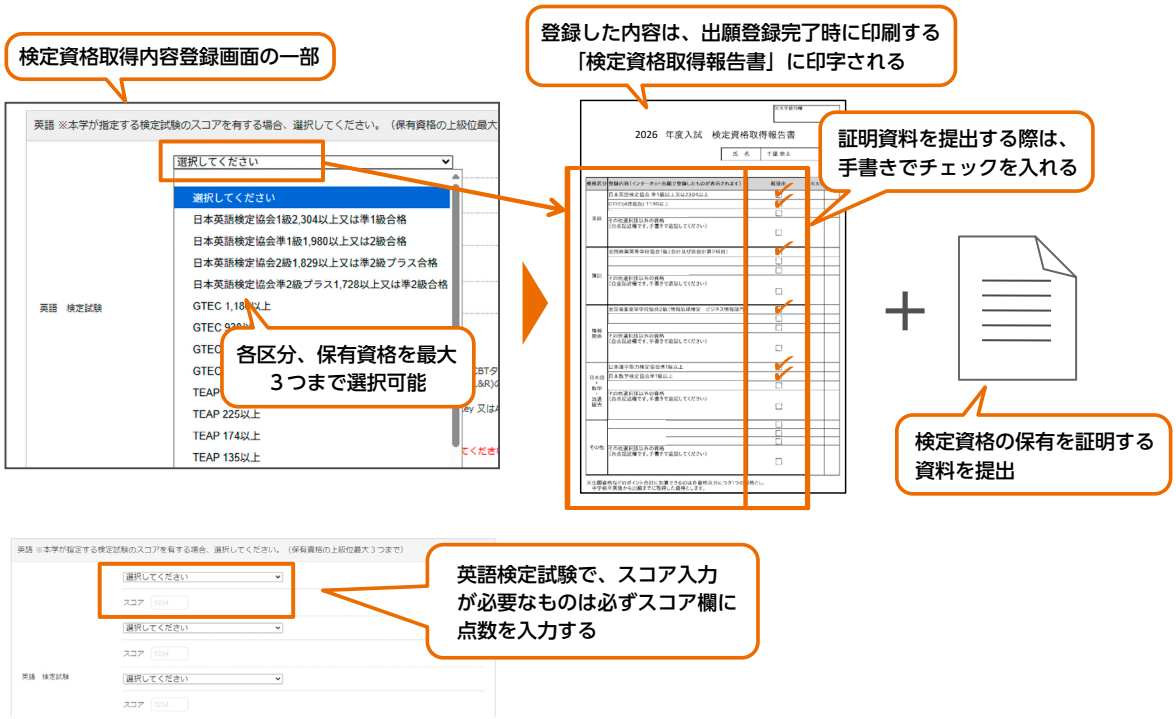
⑷ 「検定資格取得報告」メニューにて、出願者が取得した検定試験や資格の情報を登録してください。

a．各資格区分から該当する検定・資格をプルダウン選択し、登録してください。スコア入力が必要な検定資格は、必ずスコアも入力してください。（選択可能な検定・資格は入力画面で確認してください）

b．保有する検定・資格が選択肢に無い場合は、「その他」を選択してください。

c．「検定資格取得報告」に登録した内容は、出願時に提出する書類「検定資格取得報告書」として［出願登録］の完了画面から印刷できます。なお、検定・資格の取得等が無い場合には入力の必要はありませんが、出願の際には「検定資格取得報告書」を必ず提出してください。

検定資格情報の登録から提出のイメージ



※登録画面および出力書類はイメージです。表示内容が変更になる場合があります。

⑸ 「入力内容の確認」画面において登録内容に誤りがないか、確認してください。登録完了後は内容の変更を一切行えません。

⑹ 誤った内容で登録してしまった場合、入学検定料支払い前（クレジットカードは決済前）であれば、再度登録し直してください。入学検定料支払い後（クレジットカードは決済後）は、登録した情報の変更は一切変更できません。（24ページ参照）

STEP4-2 入学検定料の支払い方法を確認

(1) 支払い方法の確認をしてください。支払可能な取り扱い機関は、下記を参照してください。

(2) 北海道および沖縄県在住者は、入学検定料が免除となります。対象者は STEP6-1 での支払いを行わず、そのまま出願してください。

下記より支払い方法を選択してください。

支 払 い 可 能 な 取 り 扱 い 機 関

■コンビニエンスストア
セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、
ミニストップ、デイリーヤマザキ、
ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

■ATM(Pay-easy 利用可能なATM)
ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行 、
三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など

■クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

■ネットバンキング
楽天銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行、
その他 都市銀行、地方銀行、
労働金庫、信用金庫、信用組合など

＜クレジットカード支払いの注意点＞

入学検定料の支払いを行う際の安全性を高めるため、クレジットカード決済において「本人認証サービス（3Dセキュア)」が導入されています。

各カード発行会社の判断により本人認証が必要とされる場合は、パスワード認証、ワンタイムパスワード認証、端末認証などによる追加認証が決済時に必要となります。

認証手順が増えることにより、クレジットカード決済に時間を要する可能性があるため、入学検定料の支払いは日にちに余裕を持って行ってください。

【本人認証が必要な場合の流れ】

支払方法選択 ▶ カード情報入力 ▶ 確認画面 ▶ **本人認証画面※** ▶ 支払完了

※3D セキュアの本人認証画面や入力画面は、カード発行会社により異なります。3D セキュアへの対応状況、設定・認証の方法など詳細は、利用中のカード発行会社に問い合わせてください。

STEP5 出願書類の印刷

出願完了画面にて志願票、検定資格取得報告書、宛名ラベルを A4（縦）サイズで印刷してください。
（出願登録完了後、マイページ内の「出願確認」メニューからも印刷が可能です）

ネット出願 **マイページログイン URL：https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja**

注意！

スマートフォンやタブレットで出願書類のダウンロードを行った際、ダウンロードボタンを押しても、印刷用 PDF ファイルが自動的に表示されない場合があります。その際は、利用している端末でダウンロードファイルが保存されるフォルダを確認してください。（ファイルの保存先は機種や設定によって異なります）

STEP6-1 入学検定料の支払い（代行業者の専用サイトへ移動）

⑴ 各支払い方法の手順を確認し、支払いに必要な番号を印刷またはメモの上、所定の期日までに入学検定料の支払いを行ってください。出願情報を登録、書類を提出していても、入学検定料納入の確認ができない場合は出願受付は行いません。ただし、入学検定料免除対象者（北海道および沖縄県在住者）は支払い不要です。

⑵ 入学検定料支払い可能期間を過ぎた場合、システムの都合上、支払い手続きが行えなくなります。

⑶ クレジットカード支払いの場合、本人認証が必要となる場合があります。（STEP4-2 参照）

⑷ 支払いの際に受け取った領収書、レシート等は試験終了まで保管してください。（提出の必要はありません）なお、本学での領収書発行は行いません。

⑸ 支払い完了後、志願票の右下「入学検定料支払い方法チェック欄」にチェックを入れ、支払日を記入してください。

⑹ 入学検定料支払い後は、出願登録の内容を一切変更できません。（誤った内容で登録してしまった場合は、24ページ「登録内容に誤りがある場合の対応」を参照）

STEP6-2 出願確認

出願内容の確認および志願票等提出書類の再印刷、入学検定料支払い方法の確認が行えます。

STEP7 出願書類を郵送

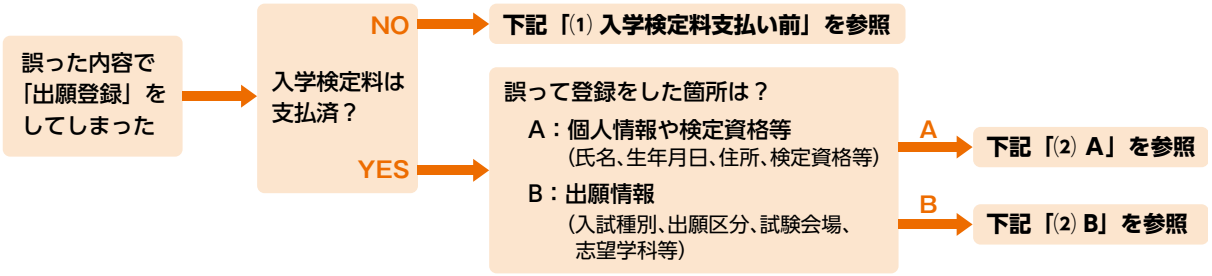
必要な出願書類をすべて準備し、市販の角型2号封筒に宛名ラベルを貼付け、所定の期日までに郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。

出願完了 受験票を確認・印刷　※所定の受験票公開期間のみ（25ページ参照）

出願完了後、受験票公開期間になると受験票の確認および印刷が可能になります。なお、大学から受験票の郵送は行いません。

登録内容に誤りがある場合の対応

入学検定料の支払い状況および誤りの項目によって対応が異なります。



⑴ **入学検定料支払い前**

・入学検定料を支払う前の場合には、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。

・誤って登録してしまった情報は、そのままで構いません。(書類を提出しなければ出願した事にはなりませんのでキャンセル処理等は不要です)

⑵ **入学検定料支払い後**

・入学検定料支払い後の場合は、登録内容の変更は一切行えません。

・以下、登録を誤った箇所を確認の上、対応してください。

A　個人情報や資格・検定情報の登録を誤った場合

・印刷をした志願票および検定資格取得報告書に、赤ボールペンで直接加筆してください。誤った箇所に二重の取り消し線を書き、すぐ近くの余白に正しい情報を追記してください。
(例：氏名、生年月日、出身校名、住所などの個人情報、資格・検定の登録ミスなど)

B　入試種別、出願区分、志望学部・学科、試験会場の登録を誤った場合

・登録内容の変更および訂正は一切行えません。再度、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。

・誤った登録情報は削除できないため、そのままにしてください。誤って登録、支払いをした分の入学検定料返還請求については、下記の「⑶入学検定料の返還請求」を参照してください。

入学検定料について

⑴ **入学検定料**　35,000円

※入学検定料の他に、サービス利用料がかかります。

⑵ **入学検定料の免除**

・北海道および沖縄県在住者は、入学検定料を免除します。

・大規模自然災害により学費負担者が被災した受験生は、経済的支援（入学検定料免除）の対象となる場合があります。(32ページまたは本学 Web サイト参照)

⑶ **入学検定料の返還請求**

出願が受理されている場合、本学を受験しなくても払込み済の入学検定料は返還しません。

以下の場合のみ、入学検定料を返還します。本学 Web サイトを確認し、返還請求を行ってください。

① 入学検定料を払い込んだが、本学に出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった）

② 出願書類を提出したが、出願資格が無いことや出願受付締切日を過ぎて郵送した等により、出願が受理されなかった場合

③ 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していなかった場合や、試験日当日に発熱（37.5度以上）・咳等の症状があったため、本学試験日に受験できなかった場合
※③は、試験当日までに本学へ連絡していることと、医師の診断書（治療期間が明記されているもの）等の提出が必要です。

＜返還請求の方法＞

「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「各種届出」→「入学検定料の返還について」

上記の本学 Web サイトから返還に関する個人情報を登録の上、申請を行ってください。
返還の手続きおよび時期等の詳細は、同本学 Web サイトで確認してください。

マイページ・インターネット出願等

■マイページ登録可能日

2026年8月末開始予定（公開日は、大学 Web サイトでお知らせします）

■インターネット出願可能期間

期　別	インターネット出願受付期間	入学検定料支払期限	出願書類提出締切日
10月期	2026年　9月　7日 (月)　9:00 ～　9月11日 (金) 16:00	2026年　9月11日 (金) 17:00	2026年　9月11日 (金)
12月期	2026年11月　9日 (月)　9:00 ～11月13日 (金) 16:00	2026年11月13日 (金) 17:00	2026年11月13日 (金)
2月期	2027年　1月25日 (月)　9:00 ～　1月29日 (金) 16:00	2027年　1月29日 (金) 17:00	2027年　1月29日 (金)

(注) 出願提出書類は郵送受付とし、締切日消印有効とします。

オンライン受験票

インターネット出願への登録が完了し、出願書類が受理されると、受験票公開期間に受験票の印刷が行えるようになります。

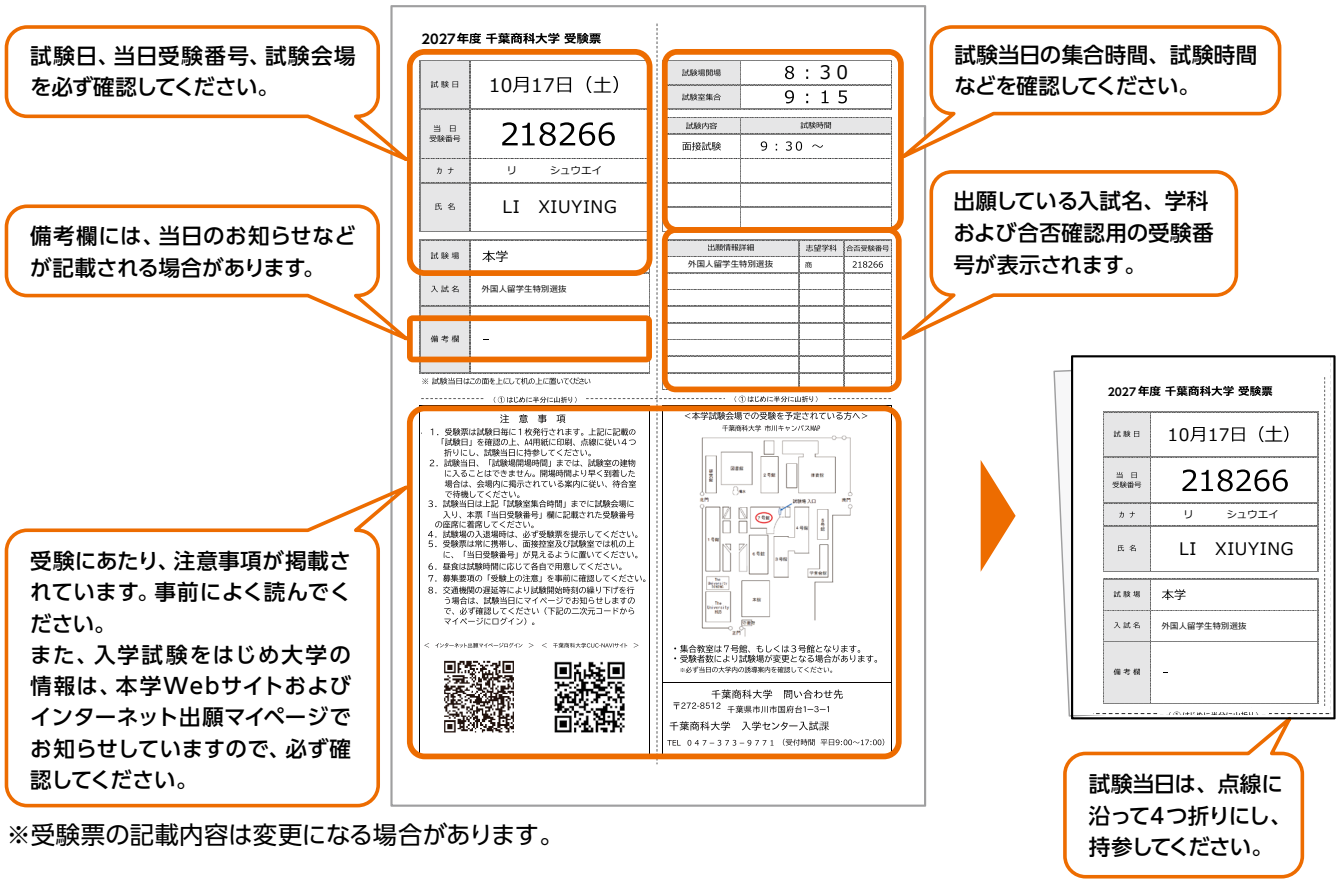
下記受験票公開期間内にマイページ「オンライン受験票」メニューを確認し、受験票を A4用紙に縦向きで印刷してください。本学から受験票は郵送しません。

また、試験当日には、受験票を折り線部分で折った上で、必ず持参してください。

■受験票公開期間

期　別	受験票公開開始	受験票公開終了
10月期	2026年10月　5日 (月)　17:00から	2027年　3月22日 (月)　17:00まで
12月期	2026年12月　7日 (月)　17:00から	
2月期	2027年　2月15日 (月)　17:00から	

■受験票見本（A4用紙・縦で印刷）



※受験票の記載内容は変更になる場合があります。

マイページ操作画面

大学から大切なお知らせがある場合、こちらに表示されます。

STEP1
【入試制度やインターネット出願について確認】
本学募集要項やガイダンスページを事前によく確認してください。

STEP2
マイページに登録・ログインするとこの画面が表示されます。

STEP3
【基本情報の登録】
出願期間前から登録ができます。
【証明写真の登録】
顔写真の登録方法を確認の上、写真をアップロードしてください。
(必ず出願前に登録してください)

STEP4
【出願登録】
出願受付期間になると、入試種別が選択できるようになります。
検定資格の情報はこの出願登録の時に入力します。
再出願の際も、こちらから出願してください。

STEP5 STEP6
【出願確認・出願書類の印刷】
志願票の再印刷や入学検定料支払い方法、支払い状況の再確認が行えます。

【オンライン受験票】
受験票公開期間中のみ、表示・印刷が可能になります。
(公開日は25ページ参照)

【合否結果】
公開期間中のみ合否結果を確認できます。(29ページ参照)

※実際の画面表示内容は変更になる場合があります。

〈インターネット出願の操作方法に関すること〉
志願受付操作サポート窓口
TEL：0120-752-257
〔受付時間〕9:00～20:00(8/1～3/31)
(12/29～1/3 除く)

〈入試に関する問い合わせ〉
千葉商科大学入学センター
TEL:047-373-9701
〔受付時間〕9:00～17:00
(年末年始(12/26～1/5)、土、日・祝日を除く)

受験上の注意

1. 試験前日まで

⑴ 25ページの説明にしたがい、A4用紙で受験票を印刷しておいてください。

⑵ 自然災害や停電、火災等の不測の事態により試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイト（https://www.cuc.ac.jp/）およびマイページの「お知らせ」に掲載しますので、必ず最新情報を確認してください。

⑶ 受験を取りやめる場合は、必ず事前に本学入学センター（TEL 047-373-9701）まで連絡をお願いします。

2. 試験当日

[試験会場について]

⑴ 千葉商科大学市川キャンパスの試験当日の開門は8時30分です。

⑵ 試験場への出入りの際は、受験票を提示してください。

⑶ 面接控室では、机に貼ってある受験番号と受験票記載の当日受験番号が同じであることを確認して着席し、当日受験番号が見えるようにして受験票を机上に置いてください。

⑷ 試験場内は全面禁煙です。喫煙は指定された場所でお願いします。

⑸ 受験生の付き添いの方は試験場内には入れません。また、付き添いの方の控室はありません。

[交通手段、遅刻の取り扱い等について]

⑴ 集合時間までに試験場へ入れるよう、時間に余裕をもって試験会場に到着してください。

⑵ 試験会場へは公共の交通機関を利用してください。自動車・バイク・自転車等での来校はできません。
近隣の通行の妨げとなりますので、自動車での送迎も控えてください。

⑶ 交通機関の遅延等により集合時間に間に合わない場合は、本学入学センター（TEL 047-373-9701）へ連絡してください。

⑷ 交通機関の遅延等により試験開始時刻の繰り下げを行う場合があります。試験当日､マイページの｢お知らせ｣に掲載しますので、確認してください。

⑸ 交通機関の遅延等を除く本人都合の遅刻は、集合時間から15分以内とします。
本人都合により遅刻限度時間を過ぎて到着した場合、欠席扱いとなります。

[当日の持ち物について]

⑴ 25ページの説明にしたがって事前に各自で印刷した受験票を、持参してください。当日、受験票を忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。

⑵ 上履きは必要ありません。

[試験中について]

⑴ 受験票は常に携帯し、面接控室では机の上に置いてください。

⑵ 試験中の体調不良・トイレ等やむを得ない場合は、面接担当者または係員に申し出てください。

⑶ 面接控室および面接室では携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の電源を切り、カバンにしまってください。これらを時計として使用することは認めません。
※上記に違反した場合は、不正行為と判断されることがあります。

⑷ 試験終了後は、受験票および所持品をすべて持って退室してください。

[オンライン面接について]

⑴ オンライン面接ルームへの入室時間は受験票を確認してください。

⑵ 入室時に入力を求められる「名前」は「受験番号＋氏名フルネーム（カタカナ）」を入力してください。

⑶ 当日、機器の不具合等により入室が困難な場合には、面接開始時刻までに本学入学センター（TEL 047-373-9701）へ連絡してください。

⑷ 面接試験当日にネットワーク環境等による不具合が生じた場合、当日の面接時間変更、または次期入試への繰り下げ受験（オンラインではなく対面による面接）となることがあります。

3. その他

[体調不良等について]

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していない者や試験当日に発熱（37.5度以上）・咳等の症状がある者には、試験日の振替※もしくは入学検定料の返還を認めます。その際は当日の受験を控え、試験日当日までに本学入学センター（TEL 047-373-9701）へ必ず連絡してください。なお、振替受験等の可否判断のため、診断書などの提出が必要です。

※2月期は試験日の振替ができませんので、入学検定料を返還します。

[不正行為について]

試験実施の公正性を確保するため、本学では出願から試験実施、合否判定に至るまで、不正行為に対して厳正に対処します。

試験中の以下の行為は、不正行為と判断され、当該試験は無効となります。

また、状況により当該年度における本学のすべての入学者選抜の成績を無効とすることがあります。

⑴ 面接者の指示にしたがわない。

⑵ 他の受験生の迷惑となる行為。

⑶ 面接試験においてメモ等を確認しながら回答する。

⑷ オンライン面接において以下の行為を行った場合。

① オンライン面接に受験生本人以外が同席する。

② 大学側から案内される URL を SNS 等で公衆に発信する。

③ 面接試験中に撮影、録画を行う。

④ 面接試験中に背景を設定する。

⑤ 面接者の指示なく面接試験途中で退室する。

⑥ 通信不良の場合を除き、複数の通信機器を使用する。

⑦ 面接試験中、面接の用途以外に通信機器の操作 (インターネット検索等) を行う。

⑸ 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤホン等を身に付けていたり手に持っていたりする等、機器を操作していると疑われる行為。

⑹ その他、試験における公平性を損なう行為と面接者が判断した場合。

⑺ 出願書類等に関する不正

次の行為は不正行為とみなすことがあります。

① 出願書類・入力内容に虚偽の記載を行うこと。

② 本人以外が作成した書類を本人作成として提出すること。

③ 本人以外の写真や情報を使用すること。

④ 提出書類の内容について、面接等において合理的に説明できない場合。

⑻ 不正行為への対応

不正行為またはその疑いがある場合には、試験監督者等が受験の中止や退室を指示することがあります。また、必要に応じて事情の確認を行います。

⑼ その他

不正行為の内容に応じて、関係機関への報告や警察への届出等の対応を行う場合があります。

[入学者選抜における生成系 AI 利用の注意喚起について]

入学者選抜に関する、生成系 AI 利用の注意事項を踏まえて、出願書類等の作成を行うようお願いします。

⑴ 生成系 AI は、まだ発展途上の技術であり、不正確な情報を生成することがあります。また、生成された文章等を利用することが個人情報や機密情報の漏洩、著作権を侵害する可能性もあります。

⑵ 生成系 AI に入力した情報がシステムに蓄積され、他の人の回答に影響を与える可能性があると指摘されています。したがって、個人情報や機密情報については、絶対に入力しないでください。

⑶ 入学者選抜では、アドミッション・ポリシーに則り、出願書類等を用いて選抜します。選抜における課題の目的を理解した上で、不正が疑われることのないよう、自らの責任において十分に考え作成した書類を提出してください。

⑷ 提出資料については、面接等において、記載内容を確認することがあります。

※上記に反し、出願書類等について不正が疑われる場合は、不正行為として取り扱うことがあります。

合格発表

⑴ 合格者には、合格通知書を合格発表日（12月期は合格通知郵送日）に速達で郵送します。なお、不合格者には郵送での通知は行いません。

⑵ 本学構内では、合格発表や合格通知書等の交付は行いません。また、合否結果についての問い合わせには一切応じません。

⑶ 合格通知書は再発行しませんので、大切に保管してください。

⑷ **合否結果は、マイページ「マイページメニュー」画面下の「合否結果」から確認ができます。**（26ページ参照）
下記 URL または二次元コードからログインしてください。

マイページログイン URL：https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja

① マイページ「合否結果」の公開期間

期　別	合否結果公開開始	合否結果公開終了
10月期	2026年11月　1日（日）　17:00から	2026年12月31日（木）　17:00まで
12月期	2026年12月21日（月）　17:00から	2027年　3月31日（水）　17:00まで
2月期	2027年　3月　6日（土）　17:00から	

② 本学への電話による合否の確認、操作方法の問い合わせ、受験番号確認などには一切応じません。

入学手続きおよび学費等

入学手続きは、インターネット出願の際に利用した「マイページ」から、Web 上で行います。

合格者向け特設サイトに公開される「入学手続要項」およびマイページ内の「オンライン入学手続き」メニューから入学手続ガイダンスで詳細を確認し、各締切日までに入学手続きを行ってください。

なお、**所定の入学手続締切日までに入学手続きを行なわない場合、入学の意志がないものとみなします。**

1．学費等

2027年度入学者の入学金および授業料等は以下のとおりです。

私費外国人留学生授業料減免制度が適用される場合、1年次の年間授業料が30%減免されます。ただし適用には、選考基準があります。選考基準は、在学中に変更になる場合もあります。制度についての詳細は32ページを参照してください。

費目		金額（円） ※4学部同一金額	
		通常	**授業料30%減免の場合**
入学金		140,000	140,000
学費	授業料	919,000	**643,300**
	教育充実費	40,000	40,000
	学園整備費	200,000	200,000
	計	1,159,000	883,300
受託徴収金	学生自治会入会金	850	850
	学生自治会費	5,000	5,000
	同窓会入会金	10,000	10,000
	教育後援会費	5,000	5,000
	学生教育研究災害傷害保険料	2,650	2,650
	学生教育研究災害付帯賠償責任保険料	1,360	1,360
	計	24,860	24,860
合計（入学初年度納入金額）		1,323,860	**1,048,160**

（注）1．受託徴収金は、学生自治会、同窓会、教育後援会および公益財団法人日本国際教育支援協会から委託されて徴収するものです。

2．本学では学生教育研究災害傷害保険および学生教育研究災害付帯賠償責任保険は全員加入とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が保険契約者、学生が被保険者となります。

3．学費等については、変更となる場合もあります。

4．私費外国人留学生授業料減免制度は、所定の成績基準を満たせば、2年次以降も修業年限まで減免の継続が可能です。

2．手続き方法

合格通知書に同封されている書類や合格者向け特設サイト内「入学手続要項」を確認の上、マイページの「オンライン入学手続き」メニューから、各期の締切日までに第1次および第2次入学手続きを行ってください。

なお、入学手続説明会（参加必須）を予定しています。詳細は、合格通知の際にお知らせします。

3．入学手続締切日等

⑴　入学手続締切日

期　別	第１次入学手続締切日	第２次入学手続締切日
10月期	2026年11月16日 (月)	2027年　2月　3日 (水)
12月期	2027年　1月　6日 (水)	
2月期	3月12日 (金)	3月22日 (月)

⑵　納入金額および納入期限

手 続 区 分	費　　目	金　額 (円)		納入期限
		通　常	授業料30%減免の場合	
第1次	第１次納入金 (入学金)	140,000		各期別とも 上記３．⑴と同一日
第2次	第２次納入金 (春学期学費等)	599,360		
	秋学期学費等	584,500	308,800	2027年10月31日 (日)

4．入学手続時提出書類

詳細は、合格通知の際にお知らせします。

⑴　誓書・個人情報に関する同意書

⑵　住民票の写し（原本、マイナンバーの記載がないもの）

⑶　学生カード

⑷　顔写真データ（大学に在籍している間、所持する学生証等に使用）

⑸　パスポートおよび在留カード（マイナンバーの記載がないもの）のコピー

⑹　出身高等学校の卒業証明書もしくは修了証明書の原本、または出身高等学校の卒業証書 ※ア、ウ

⑺　出身高等学校の成績証明書の原本 ※ア、ウ

⑻　卒業証明書および成績証明書の日本語訳の原本 ※イ、ウ

※ ア．原本を提出できない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることを、公証役場等の公的機関または第三者機関（日本語学校等）が証明したもの）とします。

イ．日本語または英語以外の言語で作成された証明書の場合は、公証役場等の公的機関または第三者機関（日本語学校等）で、翻訳が正確であると証明を受けた翻訳を提出してください。なお、第三者機関の翻訳の場合は、その学校または団体等による証明（学校・団体名、確認日、確認者名および公印）を受けてください。

ウ．⑹～⑻は、出願時に提出した書類の原本とします。

エ．提出された書類は、返却しません。

5．奨学金等について（在学中に変更になる場合があります）

⑴　私費外国人留学生授業料減免制度

私費外国人留学生を対象に、規程に基づき学内選考の上、年間の授業料を減免するという制度です。

入学年次の秋学期学費納入時に相当分が免除されます。所定の成績基準を満たせば2年次以降も修業年限まで減免の継続が可能です。

※すべての私費外国人留学生が減免されるわけではありません。

※千葉商科大学（大学院）私費外国人留学生授業料減免規程に則り減免額が決定されます。

※授業料減免制度に関する問い合わせは「国際課（interex@cuc.ac.jp）」まで連絡してください。

⑵　その他

日本学生支援機構奨学金等を取り扱っています。

6．大規模自然災害に係る受験生への経済的支援

⑴　経済的支援の対象者

学費負担者が被災した受験生ならびに入学予定者とします。

なお、支援対象となる災害については、下記の本学 Web サイトを参照してください。

「本学で学びたい方」→「CUC- NAVI」→「学費／奨学金等」→「奨学金・支援制度」→「大規模自然災害等に係る経済的支援」

⑵　経済的支援の基準（罹災証明書により被災状況を確認します）

被　災　状　況	経済的支援の内容
学費負担者が所有する自宅家屋が全壊（流失）あるいは大規模半壊した場合	・入学検定料の納入免除 ・入学金の納入免除

⑶　申請書類

罹災証明書（コピー可）

⑷　申請方法

入学センターへ事前に問い合わせの上、罹災証明書（コピー可）を、本学入学センターに提出してください。

⑸　申請期限

ア．入学検定料の納入免除については、各期の出願受付締切日までとします。

イ．入学金の納入免除については、各期の第１次入学手続締切日までとします。

⑹　被災した受験生への経済的支援に関して、罹災証明書が期限に間に合わない場合や、その他不明な点がある場合は、入学センターへ問い合わせください。

7．その他

⑴　一度受理した書類および**納入手続きの完了した入学時納入金は、返還しません。**

⑵　マイページの誤操作などを理由とした入学手続期間終了後の入学手続きや、その他のトラブルについては受け付けません。

⑶　入学手続完了後、入学資格のないことや、提出書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。

不明な点は、本学入学センターへ問い合わせてください。
千葉商科大学入学センター　　電話番号　047-373-9701
受付時間　9：00～17：00（土曜・日曜・祝日の受付は行いません）

入学前教育について

本学では、入学予定者を対象に大学教育への円滑な移行を目的として入学前教育を実施しています。
本学で実施する入学前教育は、入学前説明会と入学前課題の2つです。

1．入学前説明会

入学決定後、あらためて大学で学ぶ目的を考えていただき、より意欲的に入学を迎えてもらうためのプログラムとして実施します。大学での学びや、学生活動の紹介、入学前課題の説明などを予定しています。

2．入学前課題

本学で学ぶ上での基礎となる知識を培うことを目的として、課題に取り組んでいただきます。
入試実施時期・合格時期に関わらず、**入学者全員必須**です。

※入学前教育の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

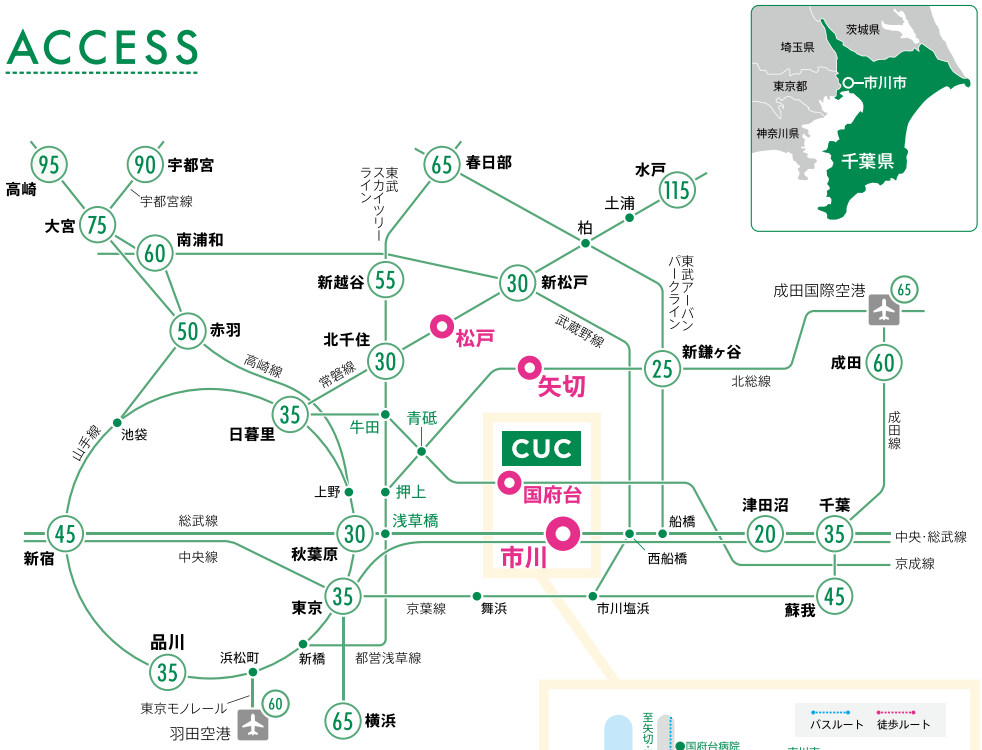
入学辞退について

「外国人留学生特別選抜」は専願の入学試験（同時に他大学を受験できない入学試験）です。入試に合格した場合、本学に入学することが出願条件となっています。（10ページ「出願資格」の6. 参照）

入学手続きが完了した時点で本学へ入学するものとみなします。そのため、**第1次および第2次入学手続きを完了した後に入学辞退を申し出ても、納入した入学金および学費等は返還しません。**

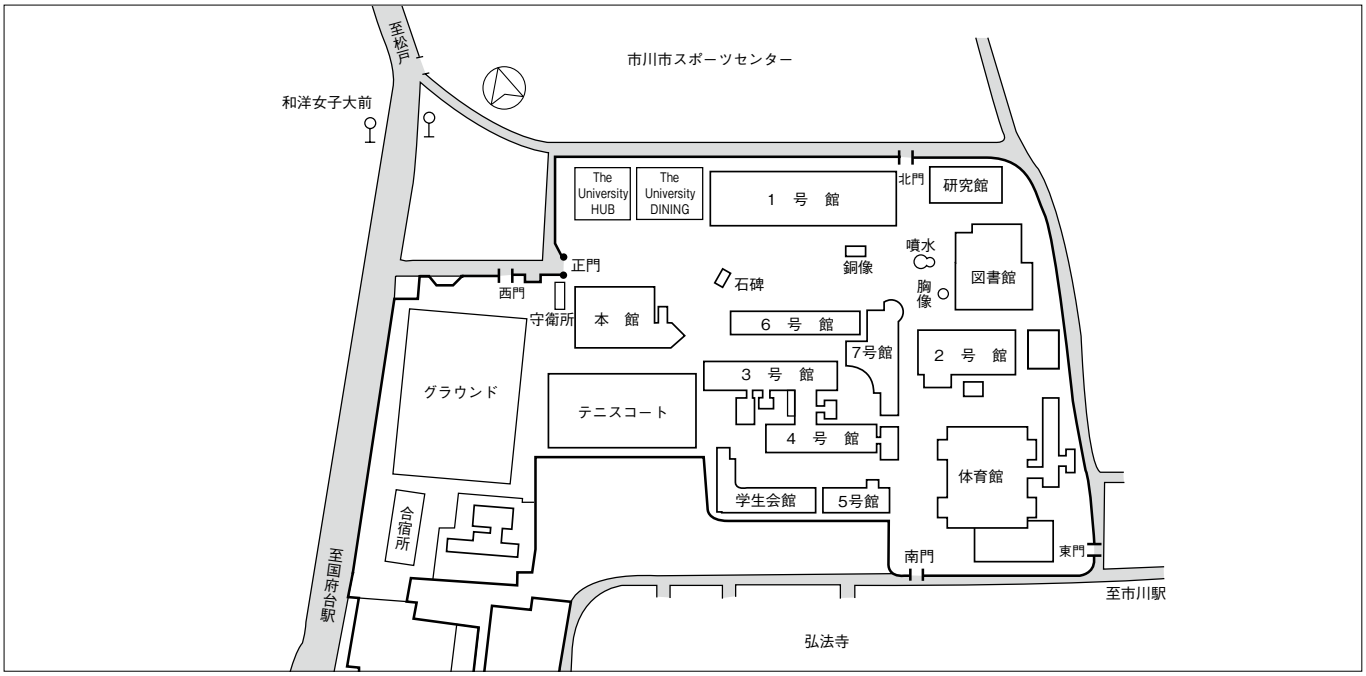
試験会場案内

千葉商科大学 市川キャンパス



丸囲み数字はCUCまでのおおよその所要時間(分) ※乗り換え等の時間は含みません。

市川キャンパス建物配置図



入試に関する問い合わせ先

千 葉 商 科 大 学 入学センター

〒272-8512　千葉県市川市国府台１丁目３番１号

TEL　(047) 373－9701

Webサイト　https://www.cuc.ac.jp/

E-mail　info@cuc.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

志願者の個人情報（氏名、住所、出身校名、その他当該志願者と特定できる情報）は、本学の個人情報保護方針に基づき、適正に管理します。

なお、入学者選抜、合格通知発送および入学等に関すること、ならびに個人を特定できない統計資料作成以外の目的に使用することはありません。